

「産業医制度の今とこれから」

産業医業務を受託する法人の立場から

株式会社健康管理室
統括産業医 益江 毅



株式会社 **健康管理室**

For Healthy Company

株式会社健康管理室

- ▶ 設立 2011年
- ▶ 代表取締役・社長：益江 淑子
(保健師・看護師)
- ▶ 代表取締役・統括産業医：益江 毅
(産業医・労働衛生コンサルタント)
- ▶ 業務内容：産業医業務委託・保健師委託業務
- ▶ 登録産業医：約70名
- ▶ <https://kenkokanrisitu.com/>

「弊社が他の業務委託企業と全く異なる点は、経営者が産業保健師であり、産業医であること。産業保健職のプレイングマネージャーであること。産業保健職を経営者が実務面でもサポート。」



大阪府大阪市北区西天満2-6-8
堂島ビルディング5F

専門は「産業医」??

産業医は何をする医師?

「ところで、先生は何科が専門ですか? 内科ですか?
外科ですが?」

「産業医ですよ」

「専門は産業医??」

「産業医が専門です。」

「???'」



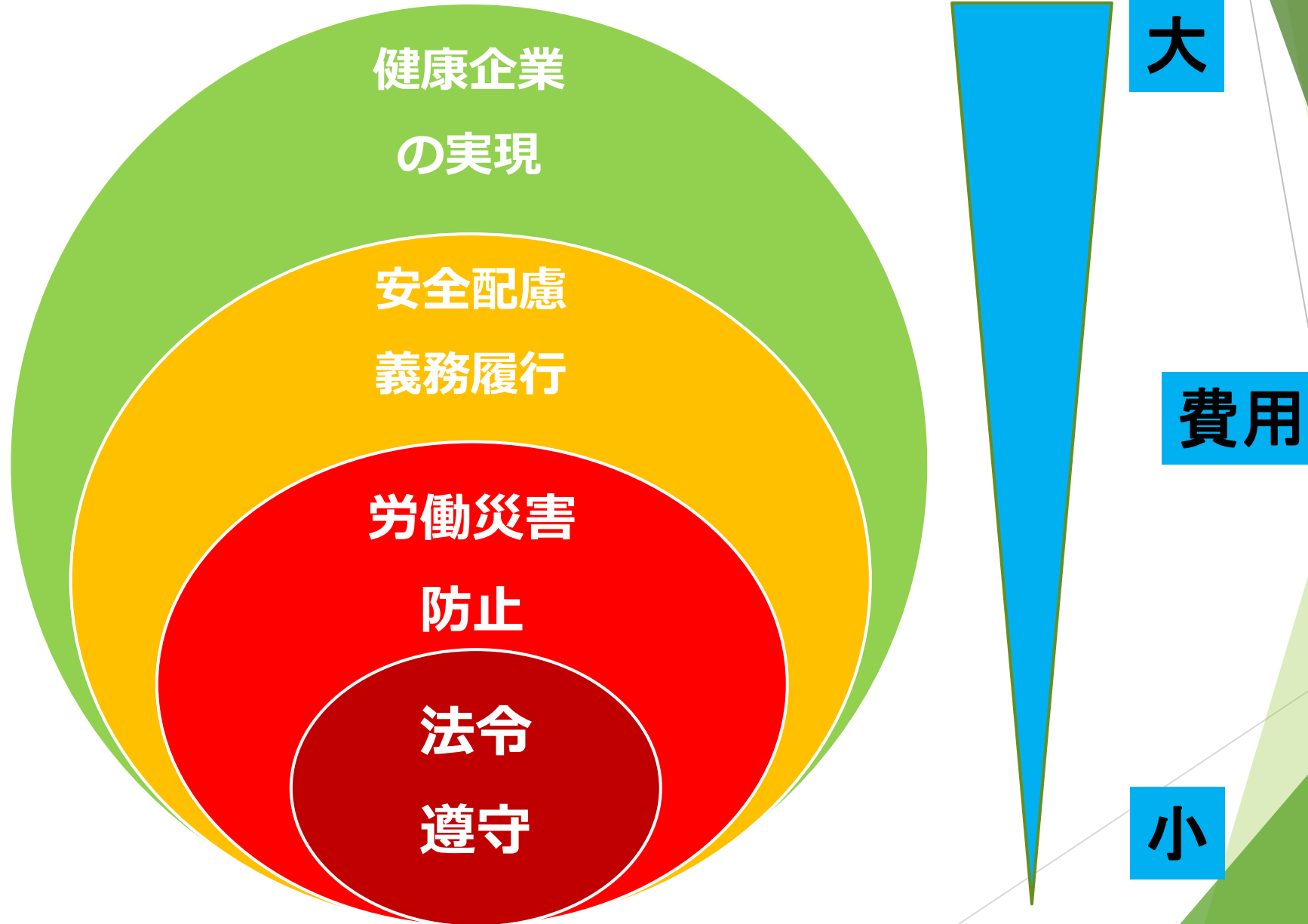
「産業医は何をする医師?」

「産業医にはどのような知識やスキルが必要か?」

産業医の職務とは（労働安全衛生法第十三条および労働安全衛生規則第十四条）

- (1) 健康診断の実施及びその結果に基づく労働者の健康保持のための措置
- (2) 長時間労働者に対する面接指導及びその結果に基づく労働者の健康保持のための措置
- (3) ストレスチェック検査、高ストレス者への面接指導及びその結果に基づく労働者の健康保持のための措置
- (4) 作業環境の維持管理
- (5) 作業管理
- (6) 上記以外の労働者の健康管理
- (7) 健康教育、健康相談その他労働者の健康の保持増進
- (8) 衛生教育
- (9) 労働者の健康障害の原因の調査及び再発防止

企業が産業医を採用する目的とは



産業医に期待される役割

従業員の健康障害の防止と
経営上のリスク軽減が産業
医の職務として期待されます。



産業医の役割や責務は益々
重要になってきており、産業
医に求められるスキルも高く
なっています

産業医実務の現状について

1. 健康診断事後措置（就業判定、就業上の措置に関する意見）
2. 各種産業医面談
（長時間労働者・高ストレスチェック者に対する面接指導、復職面談、各種健康相談など）
3. 職場巡視
4. （安全）衛生委員会への出席
5. その他（健康経営など施策に関する助言）

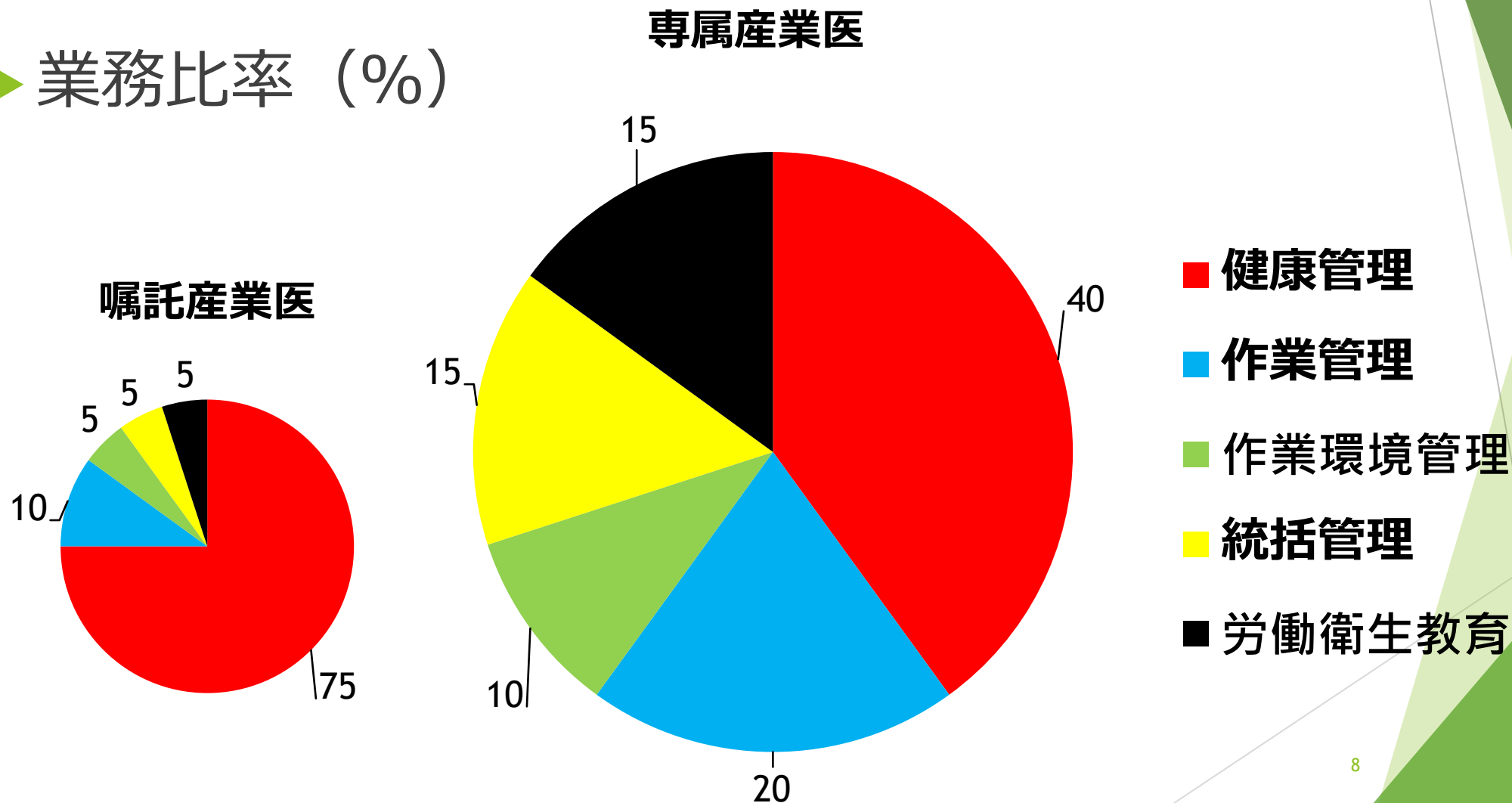
高い

優先順位

低い

嘱託産業医と専属産業医の業務の相違

▶ 業務比率 (%)



企業は産業医に何を期待しているか？

小規模事業所

低コストで
必要最低限の法定職務を
行ってくれる産業医を

低価格で
紹介

紹介会社や受託企業

大規模事業所

高いスキルを
持ち健康経営や生産性の向
上に貢献できる産業医を

低価格
で紹介

ミス
マッチ

紹介

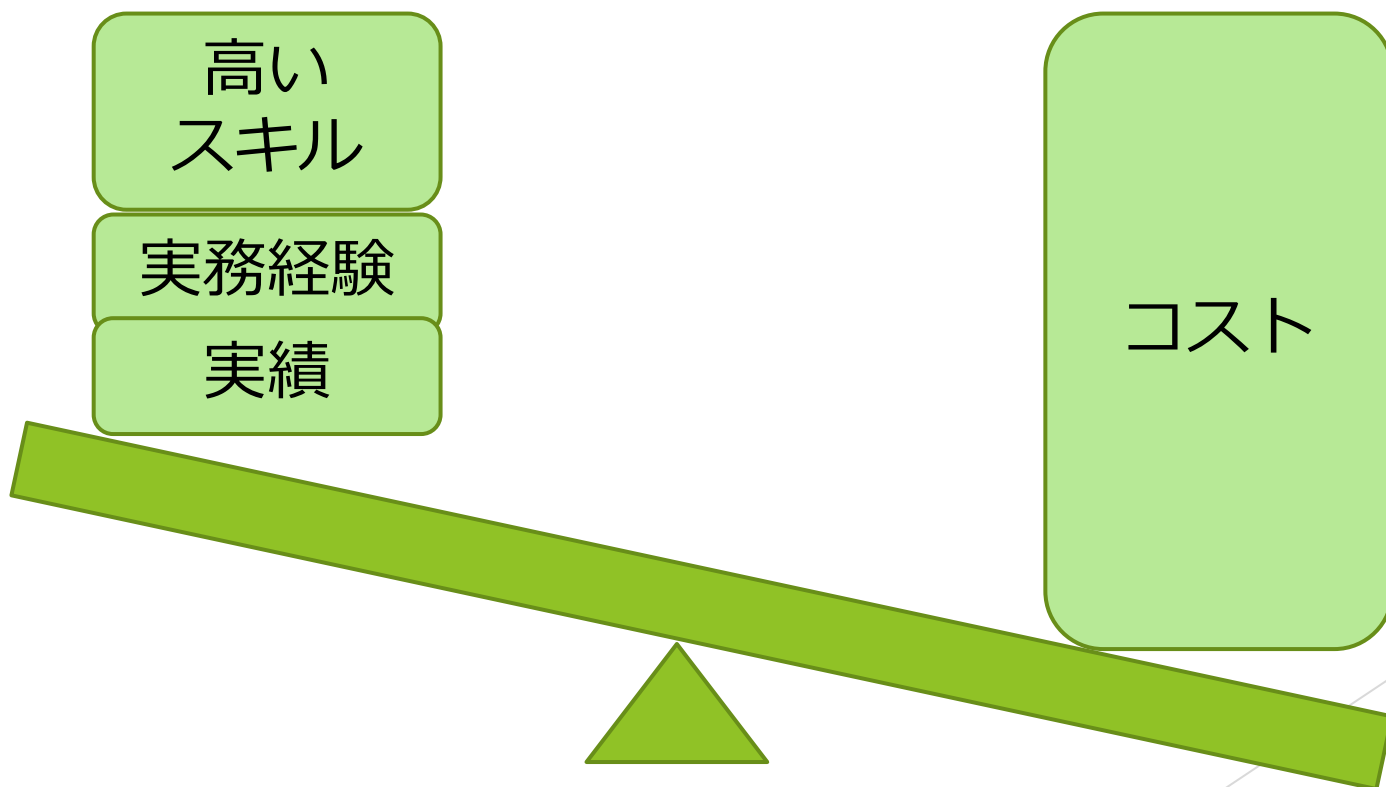
知識や経験の
乏しい産業医

高いスキル
を持った
産業医

小規模事業所では安全衛生管理体制が十分に機能していないことが多く、非常に高いスキルが産業医に求められるミスマッチがしばしば認められる。また、高いスキルを持った産業医は非常に少ないため、大規模事業所に高いスキルを持った産業医を紹介できていない

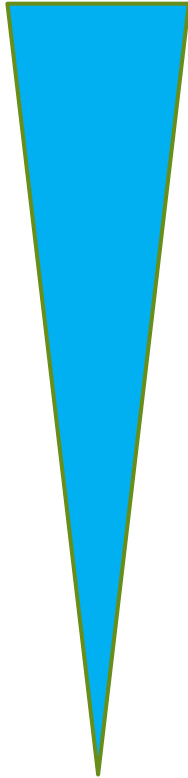
産業医においてグreshamの法則が起こり始めている！

産業医受託企業が増加し、価格競争の激化により、低料金でも引き受ける知識や経験の乏しい産業医が職を得る機会が増える一方で、料金設定が高いスキルをもった経験豊富な産業医が職を追われる現象がみられる。産業医受託業者としては、小規模事業所を担当する産業医のスキルアップの教育と、高いスキルを持った産業医がその能力を十分に発揮できる場の確保が今後の課題である。



企業が産業医を選ぶ基準

重



軽

- ▶ 費用
- ▶ 年齢・性別
- ▶ スキル（過重労働、ストレスチェック、メンタル、有害業務、復職判定）
- ▶ 実務経験
- ▶ 人柄

- ▶ コミュニケーション能力
- ▶ プレゼンテーション能力
- ▶ ビジネスマナー

- ▶ 専門性（資格、専門医）

採用時

更新時

産業医のスキルを適正に評価 できる指標が不可欠である！

企業の
要望！



産業医の
スキル！

産業保健の
レベル向上



でも、産業医のスキルはどのようにし
て評価すればよいのか

現状では専門医制度も産業医のスキルを評価する指標として
は十分には機能していない。適正に評価する指標がないため
に、企業は料金の多寡でのみ産業医を選定せざるをえない。

スキルの指標がないことが、価格競争を加速させている！

高いスキルをもった産業医が活躍できる場を確保するために！

産業医のスキルを適正に
評価できる指標の開発

高いスキルの
産業医が活躍
するために

企業における指標の
活用の推進

産業医の職務に対する正
しい理解と企業経営にも
たらすベネフィットへ認
識の促進

法令で義務つけら
れているから選任
しているところが多
い。福利厚生的な側
面も否めない

経験の浅い産業医も安心して働けるように！

産業医の
資格はあるもの
の・・・



産業医の場合は研修医制度がありません。また、一部の専属産業医のようにOJTを受けることもできません。そのため、産業医の資格はとったものの、実際にどのように産業医業務を進めていけばよいかわからず、ためらう先生も多いと聞きます。

また、事業所の規模、業種により産業医の業務内容は大きく異なります。産業医のスキルと企業のニーズをマッチングさせることにより、実務経験の浅い産業医も安心して働ける場を提供することができ、産業医に適正配置にもつながります。経験の浅い産業医にも安心して働いてもらうためには、産業医のスキルに応じて、階層別、系統別、業種別に、実務面を中心とした研修を実施する方は望ましいと思われる。

産業保健委員会答申(日本医師会産業保健委員会令和2年5月15日)

6 産業医の仲介業者による遠隔活動化の促進への懸念 (略) 仲介業者は、多くのところで通信機器を利用した相談や面談を促すことによって、産業医活動のうち安価に実施可能なものだけを実施させて費用を抑え収益を確保している。仲介業者の中には、産業医の活動に関する知見や経験が不十分であるにもかかわらず、低価格で産業医の活動が可能であることを強調した宣伝を行っているところもある。(略) 通信機器による活動では、産業医による職場巡視、衛生委員会などでの討議、機微な情報を取り扱う相談、診察を含む面談などの遠隔化できない産業医活動が実施されないおそれがある。本来、産業医の活動は、現場の環境や作業をよく観察して、労働者の身近で親身な相談を受けることを原則とすべきある。(略) 仲介業者の間で価格競争が激しくなると、一般企業における産業保健活動の予算を下げる動きを招くおそれがあり、産業医が十分な活動を実施できなくなるおそれがある。安易に報酬額が決められてしまうことをめぐる問題は、個別の事案にとどまらず、全国の産業医の報酬にも悪影響を及ぼすことが懸念されることから、日本医師会は厚生労働省に対して改善を要望した。仲介業者による遠隔活動化の促進は、いわゆる名義貸しを助長することになりかねず、産業医の活動や制度そのものを脅かすおそれがある。適正な企業理念と適格な資質を具備していない仲介業者が産業医の紹介を行うことがないようにその事業の内容や活動の実態を調査し継続して監視すべきである。

料金体系

サービス内容 月額費用	プランA	プランB	プランC
産業医訪問	●	○	●
オンライン 産業医面談	○	●	●
+ ストレスチェック	●	●	●
50名	4万円～	4万円～	6万円～
300名	7万円～	7万円～	9万円～
500名	10万円～	10万円～	12万円～

*健康相談のみのご相談も受け付けております。お気軽にお問い合わせください。



紹介可能人数	15万人以上
対応エリア	全国
チェンジ可否	無料で可能

産業医業務を正しく理解していない委託業者の乱立は、価格競争を激化するだけで産業医の資質向上に寄与しない！

産業医業務を正しく理解していただくための 啓蒙活動が必要！

産業医の業務には、本来は医療行為は含まれていない。にもかかわらず、産業医がワクチン接種などの医療行為を行うことができるかのような誤解が政府内でも見受けられる。また、遠隔で産業医業務がすべてできるかのような宣伝を行って、低料金で訪問の無い契約を結ぶ仲介業者も見受けられる。また、過大な宣伝で、スキルの低い産業医を低料金で紹介し薄利多売で利益を上げようとする業者も存在する、そのような情報に惑わされることのないように、産業医の役割、職務を企業に正しく理解してもらうための啓蒙活動が重要である。

産業医業務受託企業の立場より（まとめ）

▶ 産業医のスキルを評価できる指標の開発

- ・ 高いスキルを持った産業医が活躍できる場を確保するために
- ・ 企業が自社のニーズに答えられる産業医を選定できるように

▶ 産業医のスキルアップのための階層別教育システムの導入

- ・ 経験の浅い産業医が活躍できる場を確保するために
- ・ 企業のニーズに答えられる産業医を育成するために

▶ 産業医の役割や職務を正しく理解してもらうための啓蒙活動

- ・ 過大な宣伝に惑わされたり、法令に反する産業医契約を結ぶことのないように
- ・ コストでなく、コスト・エフェクト、コスト・ベネフィットを重視して、産業医を選定していただけるように」